

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26221204	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	天然化合物の革新的標的分子同定法の確立とケミカルエピジェネティクス	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	吉田 稔(理化学研究所・吉田化学遺伝学研究室・主任研究員)

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、生理活性物質の標的分子の同定と作用機作の解明の迅速効率化を目指した大規模高速スクリーニング技術の開発で、研究開始当初には予想しなかった幾つかの技術的な困難に直面したものの、手法の変更や改善により克服し、計画どおりの順調な進捗状況にあると判断される。一方、ケミカルエピジェネティクスの課題では、ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤と標的酵素の構造解析から、標的酵素が予想外の酵素活性を有することを発見するとともに、酵素の構造変化による活性発現の新規メカニズムを見いだした。スクリーニング技術の確立に伴って、今後も同様な発見がなされていくことを期待する。</p>		